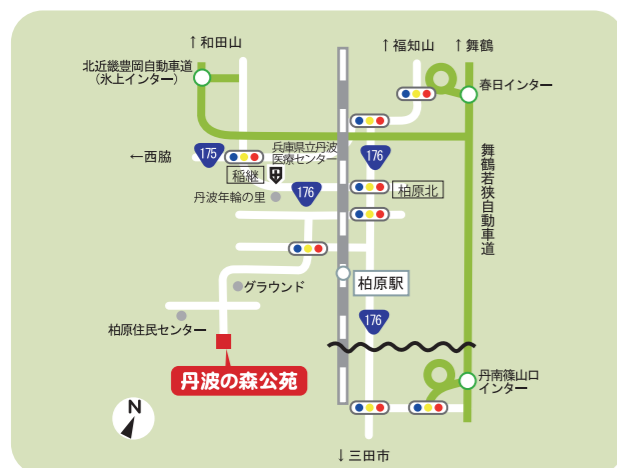


会場地図



丹波の森公園



丹波篠山市民センター

丹波の森宣言

丹波の自然と文化は、現在及び将来にわたる住民共有の財産であって、これを維持発展させることは私たちに課せられた重大な責務です。今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いの力を合わせ、自然や文化を大切にしながら、これらを生かした「丹波の森」づくりを次のように進めることを宣言します。

- 1 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
- 2 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
- 3 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。
- 4 丹波の素材さと人情を大切にし、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

昭和63年9月1日

募集案内

定員

60名
(先着順)

講座回数

10回
(内ワークショップ2回)

受講料

8,000円
(学生は無料)

その他

- ★修了者(5回以上の受講生)には学長より修了証書を交付します。
- ★2歳~就学前のお子様の託児をご希望の方は事前予約が必要です。

受講申込方法

- ①受講申込書(別紙)に、必要事項を記入の上、事務局までお持ちいただくか、または郵送、FAXでお申し込みください。電話での申し込みは受け付けておりません。
- ②申込フォーム(QRコード)より申し込みいただく場合は、右記のQRコードを読み取り、フォームに従って送信してください。
- ③申込締切
5月14日(日)

申込フォーム



※定員を超えた場合は、募集期間内であっても募集を終了させていただく場合があります。

お申込・お問合せ先

公益財団法人 兵庫丹波の森協会「丹波の森大学」事務局

〒669-3309 丹波市柏原町柏原5600

TEL:0795-73-0933 FAX:0795-72-5164

※本大学は学校教育法に定める大学ではありません。

令和5年度(第33期)

丹波の森大学

学習の基本テーマ「森のデザイン」



公益財団法人 兵庫丹波の森協会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600
丹波の森公園内

TEL:0795-73-0933 FAX:0795-72-5164



森文化の揺籃!丹波の森大学

昭和63年に、豊かな自然と文化を活かした丹波の地域づくりの指針である「丹波の森宣言」が、多くの住民の署名のもとに採択されました。これを受けて平成元年には、人と自然と文化が調和した地域づくりを目指す「丹波の森構想」が策定されました。

そして宣言採択から30周年を迎えた平成30年には、宣言の理念をしっかりと受け継ぎながら、社会環境やライフスタイルの変化をふまえた、新しい丹波の地域づくりが始まりました。

丹波の森大学も、新しい時代のなかでの個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そして、それを支える「もりびと」づくりのためのより深い学習と実践の場として生まれ変わりました。多彩な講師陣による講義と現地学習をまじえた講座にご期待ください。

学長から一言

丹波の森大学では、年度ごとに基本テーマを決めて、そこに多様な切り口でアプローチします。今年度も、大学などで教育・研究を行いながら、地域づくりの第一線で活躍されている講師に登壇していただきます。例年と同様の講義形式に加えて、初めての試みとして、ワークショップ(ゼミ形式)で講師の先生や他の受講生の方より議論し、交流できる方法を取り入れたいと考えています。

若者や仕事をお持ちの方など、様々な世代の方に受講していただくことができます。講義を聴くだけでなく、現地学習の機会もあります。地域で学び、そして地域づくり活動に関わることの醍醐味を味わってみたいと思います。

丹波の森大学学長 角野幸博



特別顧問
齋藤元彦
兵庫県知事



学長
角野幸博
関西学院大学建築学部教授
丹波の森公苑長

学習の基本テーマと講師紹介

学習の基本テーマ 「森のデザイン」

丹波の森の空間デザインや生活デザインの視点から、丹波地域の将来像を一緒に考えます。デザインというのは、モノや空間の形を決めることとは限りません。デザインは今、「社会的課題の解決」に資するものへと間違いなく広がっています。モノ単体の視覚的な良し悪しではなく、その背景にある関係性や仕組みが注目されています。少子高齢化をはじめ多方面での課題が山積みしている日本では、その解決の糸口となるような価値を創出することが、デザインの役割なのです。地域をデザインすることは、そこに暮らす人々の生活を創造することです。丹波地域の真相を見つめ、将来を見据える取り組みにチャレンジしてみたいと思います。

(敬称略)

第1回 **5月27日** (土) (開講式10時00分～)
10時30分～12時00分
丹波の森公苑
多目的ルーム



角野 幸博
丹波の森大学学長 丹波の森公苑長
関西学院大学建築学部教授
都市再生や地域再生、郊外住宅地再生等、まちづくりの調査研究と計画立案に携わる。

講義テーマ 森の中のまちのデザイン

第2回 **6月3日** (土) 10時00分～11時30分
丹波篠山市民センター
多目的ホール



平田 オリザ **公開講座**
芸術文化観光専門職大学学長・劇作家
劇団「青年団」主宰。江原河畔劇場芸術総監督、
豊岡演劇祭フェスティバル・ディレクターほか。
1995年『東京ノート』岸田國士戯曲賞、2019年『日本文学盛衰史』鶴屋南北戯曲賞受賞。

講義テーマ わかりあえないことから
ーコミュニケーションデザインについて考えるー

第3回 **7月29日** (土) 10時00分～11時30分
丹波篠山市民センター
催事場1.2



上甫木 昭春
(公財)兵庫丹波の森協会丹波の森研究所特任研究員
大阪府立大学名誉教授
地域の自然特性や歴史特性を手掛かりに、健全な地域環境の形成に係わる調査研究や政策提言に取り組む。

講義テーマ 新宿る森と暮らし方のデザイン

第4回 **8月19日** (土) 10時00分～11時30分
丹波の森公苑
多目的ルーム



岩槻 邦男 **公開講座**
兵庫県立人と自然の博物館名誉館長
東京大学名誉教授
丹波市出身、日本学士院エジンバラ公賞をはじめ、
『自然と人間との共生』の理念に貢献した人や研究に贈られるコスモス国際賞を2016年に受賞。

講義テーマ 森に寿命はあるか?
--- 生命をデザインする ---

第5回 **9月30日** (土) **丹波の森公苑** 多目的ルーム



平櫛 武 10時00分～10時40分
キタイ設計株式会社事業開発本部部长
(一社)建設コンサルタンツ協会環境配慮専門委員会副委員長
ひょうごフィールドパビリオン検討コアメンバー
兵庫県地域創生戦略会議未来の担い手育成部会特別委員
兵庫県地域再生アドバイザー

講義テーマ SDGsって何?
「はりまホッププロジェクト」を通じて～



上岡 典子 10時50分～11時30分
ULAN環境工房代表取締役
丹波の森研究所登録研究員
武庫川女子大学景観建築学科非常勤講師
京都芸術大学ランドスケープデザイン学科非常勤講師
兵庫県地域再生アドバイザー

講義テーマ 「つながり」(=ソーシャル・キャピタル)
から「地域力」を読み解く

第6回 **10月24日** (火)
現地学習



※参加費(バス代、入館料等)が必要

神戸市立森林植物園 他

六甲山の山並みを背景に世界の樹々を自然に近い形で
植栽している植物園などを見学します。

第7回 **11月25日** (土) 10時00分～11時30分
丹波の森公苑
多目的ルーム



井口 勝文
1級建築士 博士(工学・九州大学)
2000年より京都造形芸術大学(現京都芸術大学)
教授。INOPLAS都市建築デザイン研究所主宰。
専門は都市・建築のデザイン。イタリア、メルカテッロ・
スル・メタウロ名誉市民。日本都市計画学会功績賞
授賞。

講義テーマ 風景が美しいと人は幸せになれる
ー地方が元気になるまちづくりー

ワークショップ(ゼミ形式)

↓Aコース・Bコースに分かれて受講↓

※ワークショップ(ゼミ形式)のコースは9月30日(土)の講義の中で概論を説明します。
その後、コースを選んで受講してください。なお、コースの複数選択はできません。

Aコース

第8回 **11月1日** (水) 13時30分～15時30分
丹波の森公苑
セミナー室

テーマ

やりたいことをなりわいにするには
～SDGsミッションを語り合おう～

第9回 **11月10日** (金) 13時30分～15時30分
丹波の森公苑
セミナー室

テーマ

なりわいを持続可能なシステムにするには
～SDGsの仕組みを利用する～

Bコース

第8回 **12月5日** (火) 13時30分～15時30分
丹波の森公苑
セミナー室

テーマ

地域の暮らしに大切な「つながり」
(=ソーシャル・キャピタル)の現状を考える

第9回 **12月20日** (水) 13時30分～15時30分
丹波の森公苑
セミナー室

テーマ

グループ討議を通して地域力を読み解く

第10回 **1月20日** (土) 10時00分～11時30分
丹波の森公苑
多目的ルーム

ワークショップ報告
(終了後、閉講式)

受講生からAコース・Bコースそれぞれのワークショップから報告します。ワークショップ講師より講評があります。



※プログラムの日程は、講師等の都合で変更することがありますので、予めご了承ください。